

Service News 【サービス・ニュース】

図書館システムのリプレースに伴い、休館中の貸出日数と予約資料の取り置き期限が以下のように変更になります。

【貸出日数】

2月18日(日)～3月3日(土)にお借りになった資料の返却日は、**貸出日から24日間**となります。

例:貸出 2月18日(日)→ 返却 3月14日(水)

※ 休館中の資料返却は、国会通りに面したブックポストをご利用ください。

【予約資料の取り置き期限】

準備できた予約資料の取り置き期限は、**休館中(3月4日～13日)を除いた7日間**となります。3月4日(日)～3月13日(火)は、予約資料のお受け取りができません。※ 取り置き期限の延長はできません。

新しい図書館システムでは利用方法の変更や再登録が必要なサービスがございますので、ご確認をお願いします。

【貸出券の有効期限】

新規作成日または更新日から**2年間**になります。現在、貸出券をお持ちの方の有効期限は、**貸出券の最終利用日から2年間**となります。

【マイページ用パスワードの再登録】

すべての方のマイページ用パスワードがリセットされるため、**3月14日以降に再登録**をお願いします。

【図書館からのお知らせメールについて】

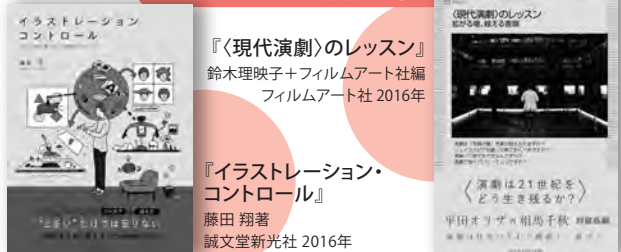
図書館からのお知らせ受信に**登録できるメールアドレスが2件まで**となります。これまで3件以上登録されていた場合、2件が残り、3件目以降のメールアドレスは削除されます。また、お知らせメールのドメインが変わります。迷惑メール対策などの設定をされている方は、library.chiyoda.tokyo.jp のドメイン指定受信の設定をお願いします。

3 Exhibit Information 3月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

3F グリーンゾーン 『変わる』(～6/15) NEW!
わたしたち自身も、その取り巻く状況も、一瞬としてとどまることなく「変わり」続けています。大きく環境が「変わる」この季節に、さまざまな視点で「変化」とらえます。

3F ブルーゾーン 『自己表現』(～4/13)
芸術をはじめとする様々な表現方法を知るための入門書を中心に、ビジネスなど他者とのコミュニケーションを図る場面で、自分の思いを伝えるときのヒントになる資料を紹介します。

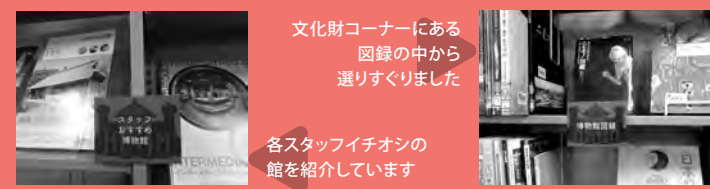
スタッフおすすめ本



2F パープルゾーン 【江戸・東京】の本を集めたゾーン

ZONE PICK UP! 博物館っておもしろい! ～5/18(金)

国内外に数多くある博物館や資料館。どんなものがあるのか、どんな展示なのか、ご存じですか?博物館や資料館の面白さ、奥深さを紹介する資料を、気軽に読めるものから専門的な博物館学の本まで幅広く集めました。近隣の博物館等を紹介するパネルやパンフレット、スタッフのオススメ館を紹介するコーナーもご用意しています。



From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館 情報探索講習会 **新しい検索機を使ってみよう!**

千代田図書館では、資料探しに役立つ情報をお伝えする講習会を、毎回テーマを変えて年に数回開催しています。今回は、3月14日に新しくなる資料検索機の使い方などを紹介します。お気軽にご参加ください。



- 【1回目】対象: 幼児～小学生
▶日時: 3月24日(土)午後2時～2時20分
▶場所: 千代田図書館10階=検索機 ※申込不要(5名程度)
- 【2回目】対象: どなたでも
▶日時: 3月26日(月)午後6時30分～6時50分
▶場所: 千代田図書館9階=コンシェルジュブース前検索機 ※申込不要(5名程度)

千代田区立図書館(室) 3月休館日のお知らせ

- 千代田図書館 3月4日(日)～13日(火)、25日(日)
- 四番町図書館 3月4日(日)～13日(火)
- 昌平まちかど図書館 3月4日(日)～13日(火)
- 神田まちかど図書館 3月4日(日)～13日(火)、18日(日)
- ちよだパークサイドプラザ区民図書室 3月4日(日)～13日(火)、18日(日)
- 男女共同参画センターMIW 毎週 日・祝日 ※3/4～13は開室。ただし、貸出・返却は不可。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

Renewal! 日比谷図書文化館のホームページが新しくなります!

日比谷図書文化館ホームページと千代田区立図書館ホームページは統合し、2018年3月14日(水)午前9時から新しいホームページとしてリニューアルします。アクセシビリティを高め、どなたにも便利で利用しやすいホームページとして生まれ変わります。ホームページをチェックして、千代田区内の図書館へ是非足を運んでください。

2018年3月14日(水)午前9時～リニューアル

1 イベント・展示がひと目で分かる
2 日比谷カレッジの申し込みが便利に!
3 貸出施設のページが出来ます
4 アクセシビリティに配慮したページに

日比谷図書文化館を含む千代田区内5館で実施されるイベントや展示情報を相互に調べることが出来ます。今まで足を運んだことがなかった図書館やイベントへも参加する機会が広がります。

開催される日比谷カレッジごとに、ホームページ上から直接お申し込みが出来るようになります。興味のある講座に、いつでも申し込みができるので受講のチャンスを見逃しません!

日比谷図書文化館の貸出施設「日比谷コンベンションホール(大ホール)」「スタジオプラス(小ホール)」「セミナールーム(会議室)」それぞれの詳細ページが出来ます。少人数から大人数利用まで、目的にあった施設をご利用ください。

音声読み上げ、多言語化、文字サイズそしてスマートフォン対応など、利用しやすいアクセシビリティに配慮したホームページに変わります。いつでも、どこでも、誰でも、千代田区立図書館の情報にアクセスすることが出来ます。

ホームページURLが変わります! **Access!** 千代田区立図書館トップページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp> 日比谷図書文化館のページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

| 2018年3月 | | | | | | | 2018年4月 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 29 | 30 | | | | | |

3月の休館日のお知らせ **3月4日(日)～3月13日(火)**
ホームページリニューアルと図書館システムのリプレースを行うため、千代田区立図書館は全館休館となります。資料返却は、ブックポストをご利用ください。また、休館中は貸出施設の予約・利用ならびに日比谷カレッジの参加申込受付(電話、メール、来館)もご利用いただけません。
3月19日(月) 定期休館日(第3月曜日)
ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

3・4月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

3/17 (土) **ピースビレッジ第61回**
世界がワクワクするまちづくり
 講師：黒田 哲二 (UDS株式会社 戦略プロジェクト室 執行役員)
 「デザイン」「事業性」「社会性」のバランスをとりながら、コミュニティを通して、いかにしてまちづくりに貢献するかをテーマに企画・設計・運営一体で取り組んできた講師に、これからのまちづくりについてお話しいたします。(主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム 共催：日比谷図書文化館)
 ■日時：3月17日(土)14:00～16:30(13:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：3000円

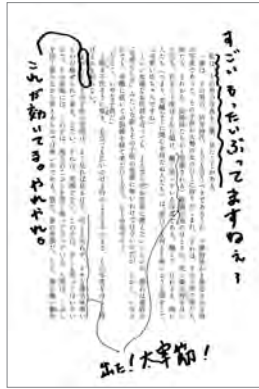
3/22 (木) **TOKYO2020を支える人たち-1**
トップアスリートを支えるスポーツ科学
 講師：窪 康之 (国立スポーツ科学センタースポーツ科学部副主任研究員)
 世界で戦うトップアスリートは、心と身体限界を突き破るため、想像を絶するレベルのトレーニングに毎日励んでいます。そのようなアスリートに対し、スポーツ科学はどのような手助けができるのか。様々なスポーツの日本代表チームに対して行われてきた科学的支援の一端をご紹介します。
 ■日時：3月22日(木)14:00～15:30(13:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：500円(中学生以上の学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

3/26 (月) **三菱一号館美術館×日比谷図書文化館 展覧会への入口講座Vol.23**
ルドンの植物譜～知られざる画家、謎の男爵、秘蔵の名画～
 講師：安井 裕雄 (三菱一号館美術館 学芸グループ 副グループ長)
 《グラン・ブーケ(大きな花束)》(三菱一号館美術館蔵)はフランスのブルゴーニュ地方ヴェズレー近郊のシャトーに秘蔵されていた、幻の大作でした。2011年にパリで初めて公開された時、現在オルセー美術館が所蔵する15点の装飾画とともに展示されると、大きな反響を巻き起こしました。三菱一号館美術館内に久しぶりに勢ぞろいする一連の装飾画は、ドムシー男爵が注文したのですが、男爵は謎が多く、肖像写真すらも見つかりません。「ルドン ―秘密の花園」展出品作と描いた画家、そして注文主の謎に迫ります。
 ■日時：3月26日(月)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)

教えて! 図書館用語 【シェルフリーディング(しえるふりーでいんぐ)】 書架の資料が請求記号順や巻号順など正しく並んでいることを確認し、並んでいない場合は、正しい順序に並び替える作業のことで、書架整頓ともいう。これにより、利用者が請求記号に基づいて資料を探すのが容易になる。また、この作業を通して、自館の蔵書構成の把握に努めたり資料の内容を確認したりもする。

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

3/27 (火) **これなら読める`名作。!`**
「らくがき式」読書のススメ(講義とワークショップ)
 講師：阿部 公彦 (東京大学文学部准教授)
 本ワークショップでは「名作」が苦手という人のための「らくがき式」という読書法を提案します。小説の本文に書き込みを入れて「いじってみる」。そうすると読書といえどもやり方があるのがわかってきます。かつ、それは“ワタシの読み”の表明として、自己表現のためのステップにもなります。国語の時間が苦手だった人や読書指導者の方にもお勧めです。
 ■日時：3月27日(火)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：40名 ■参加費：1000円



『太宰治 人間失格』(「名作をいじる「らくがき式」で読む」(立東舎)より)

3/28 (水)他 **境界を超えるクラシック**
―新天地を求めた作曲家たちのエナジー(全2回)―
 ～「ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2018」を前に～
 講師：飯田 有抄 (クラシック音楽ファシリテーター、ライター)
 時代の流れや揺れ動く社会情勢の中、住み慣れた土地を離れ新天地での活動を決意した作曲家たちがいます。彼らは何を思い、作品にどんなエナジーを込めたのでしょうか。彼らの創作活動を紹介しながら「新しい世界へ」という音楽祭のテーマに迫ります。(協力：東京国際フォーラム、ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン)
 ■日時：第1回 3月28日(水)19:00～20:30(18:30開場)「作曲家はなぜ新天地を求めたのか」
 第2回 4月4日(水)19:00～20:30(18:30開場)「境界を超えた作曲家たちのドラマ」
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：各回200名 ■参加費：各回500円



4/13 (金) **お茶と健康**
 講師：大森 正司 (大妻女子大学「お茶大学」校長)
 人がこの世に誕生して最初にする行動は、食べ物を「食べる」という行動です。以来、人は一生涯食べ続ける訳ですが、この時、何を、誰と、どこで、どのようにして「食べる」か、そして「飲む」かということは、その人の身体と心の健康に大きく影響します。茶との関係を含めて解説したいと思います。
 ■日時：4月13日(金)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：1000円



4/18 (水) **気候変動が歴史を変えた文明誕生までの人類の軌跡**
 講師：田家 康 (日本気象予報士会東京支部長)
 近年の古気候研究には目を見張るものがある。浮かび上がった姿は、過去7万年にわたる激しい気候変動であった。こうした地球環境にあって、われわれ現生人類はいかにしてアフリカの地から世界全体へと進出し、生き延びてきたのか。文明はどのようにして誕生したのか。一緒に考えていきたい。
 ■日時：4月18日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：1000円



4/19 (木) **生物に学ぶものづくり**
 講師：赤池 学 (ユニバーサルデザイン総合研究所所長)
 これからのものづくりは、人類を含めたすべての命に安全であるかどうかを軸に進めていくべきです。そこで注目されるのが、生き物が開発してきた技術やシステム、「生物を規範とする工学」です。今回の講義を通じ、生物という38億年の教師たちに学び直す楽しさと深さをお感じいただきたいと思います。
 ■日時：4月19日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：1000円



4/24 (火) **大嘗祭と日本人**
―基層文化から日本を問い直す
 講師：工藤 隆 (大東文化大学名誉教授)
 大嘗祭(だいじょうさい)が古代天皇国家の祭祀として登場したのは、600年代末ごろです。その祭祀が、1300年以上もあとの、近代国家日本の21世紀にも挙行されます。その本質・原型・源を探ると、それが縄文・弥生時代以来のアニミズム系文化の残像を伝え、ヤマト的なものの結晶でもあることを明らかにします。
 ■日時：4月24日(火)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：1000円



4/25 (水) **痛みの科学と医学**
―私たちは痛みを克服できるだろうか
 講師：後藤 秀機 (サイエンスライター)
 痛みを発する局所のメカニズムやその情報を伝える痛覚神経は解明された。しかし、脳がどのように痛みを感じているかは不明である。一方、世界中で痛みに効く薬草が語り伝えられ、現在、麻酔薬、鎮痛薬、医療用麻薬として使われている。発痛と鎮痛に関する研究の現状とこれからの挑戦について講義する。
 ■日時：4月25日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：1000円



◆古文書塾てらこや 体験講座◆ 体験講座 各回：1000円

「古文書塾てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。4月期の開講に合わせ、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。各コース別の体験講座実施日は下記の通りです。まずはお試しください。

| | 講座名 | 曜日・時間 | 体験講座実施日 |
|---------------|-------------------------------|------------|---------|
| 入門コース 120分 | 古文書のいろは 筆字のくずし字 | (月) 10:30～ | 4/2 |
| | | (火) 10:30～ | 3/27 |
| | | (火) 13:30～ | 3/27 |
| | | (木) 13:30～ | 3/29 |
| | | (金) 13:30～ | 4/6 |
| | | (金) 18:30～ | 3/30 |
| | いろはの次 一 大江戸大変 | (月) 18:30～ | 4/2 |
| | いろはの次 一 江戸時代の海外知識 | (金) 10:30～ | 3/30 |
| 本科コース 120分 | 文人画と碑文 一掛軸を読む | (日) 13:30～ | 3/25 |
| | 武家文書を読む 一幕府崩壊事情 | (水) 13:30～ | 3/28 |
| | 江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む | (金) 18:30～ | 3/30 |
| | 絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編) | (土) 13:30～ | 4/7 |
| | 翻字者育成講座 国文学研究資料館蔵「源氏物語 若紫」を読む | (土) 14:30～ | 4/7 |
| 特別講座 90分 | 自分の花押(かおう)を持ってみませんか | (火) 13:30～ | 3/27 |
| | 大久保利通の手紙を読む | (火) 19:00～ | 3/27 |
| | 浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催 | (水) 10:30～ | 4/4 |
| | 商家文書を読みとく一三井越後屋の奉公人 | (火) 19:00～ | 4/4 |
| | くずし字で読みとく茶の湯の伝書 | (木) 13:30～ | 3/29 |
| | 江戸を楽しむ 一続・江戸の寺社あれこれ | (木) 18:30～ | 3/29 |
| | 絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編) | (土) 10:30～ | 4/7 |

■会場：4階 セミナールーム(会議室)、スタジオプラス(小ホール)
 ■資料請求・体験講座のお問合せ：電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館代表 古文書塾てらこや担当迄

特 別 研 究 室 企 画 展 示

外国人が見た幕末日本

―オイレンブルク遠征隊を中心に―

3月31日(土)まで開催中

江戸の神社の境内(亀戸天神社)【プロイセン東アジア探検報告書/プロイセン東アジア遠征隊編(1864年)】

プロイセンのオイレンブルク遠征隊の記録を中心に、内田嘉吉文庫に残されている外国人の絵師たちの目に映った幕末日本の姿を紹介しています。1860年に来日したオイレンブルク遠征隊は、ペリー提督率いる米艦隊の遠征時には許されなかった江戸市中入りが可能となり、多くの図版を残しています。精緻な筆致で描かれた江戸の街並や郊外の風景をご覧ください。

ポモ一又広報室より

今年は数年ぶりに東京でも雪が積もり全国的に寒い日々が続きましたが、3月が近づくとつれ、陽の暖かさや長さなど季節の変わり目を感じるようになりました。3月は「弥生」とも呼ばれ、春の暖かい陽気に恵まれ、すべての草木が「弥生(いやおい)」茂る月の意味があります。3月21日の春分の日からは昼間の時間が長くなり、ますます春を感じられることでしょう。日比谷公園の草木の芽も日ごとにふくらみ始め、館内から見る景色も変わり始めます。3月は穏やかな春の訪れを探しに、日比谷へ来てみませんか。